

ツバメの子育てを観察しよう - II 調査のまとめ 解説

作成：(公財) 日本野鳥の会

この資料は、教員向けガイドブック「ツバメの子育てを観察しよう」を使ってツバメの学習を行う際の補助教材として日本野鳥の会が作成した、パワーポイントの解説です。

■目的：

- ①ツバメの子育ての調査結果をまとめ、観察からわかったことを共有する
- ②クラスで、ツバメと自然環境のために何ができるかを話し合う

■対象：小学校 4~6 年生

■所要時間：

調査結果のまとめ+ポスターの作成：45分

ポスターの作成(続き)+発表：45分

グループディスカッション：45分

■授業への活用の方法

教員向けガイドブック「ツバメの子育てを観察しよう」で紹介している、ツバメの子育て調査を野外で実施した後、クラスで結果をまとめる際にご活用ください。

グループ単位で調査を実施した場合は、まずグループごとに結果をまとめた後、クラス全体で共有するとよいでしょう。

【ガイドブック「ツバメの子育てを観察しよう」ワークシートとの対応】

- ・ガイドブック「ツバメの子育てを観察しよう」のシート1. 調査用紙への記入結果が、グループごとの集計結果になります。
- ・シート2 (巣ごとの観察記録) の記入内容を、グループで共有しましょう。
- ・シート3の巣の地図を、大きな用紙に清書しましょう。
- ・シート4集計用紙を使って、クラス全体の結果を集計しましょう。
- ・シート5「かんがえてみよう」を使って、グループディスカッションを行きましょう。

45分単位の授業に取り入れる時は、合計3時限を使って、はじめの45分で結果のまとめとポスターの作成を行い、次の45分でポスターを完成させてグループごとに発表し、最後の45分でグループディスカッションを行うとよいでしょう。

*時間配分は目安です。クラスの人数や、進行状況により、アレンジしてください。

※パワーポイント使用時の注意：パワーポイントは、プロジェクターで投影するほか、プリント・配布して利用いただけます。対象年齢や授業の内容にあわせて改編していただいて構いません。ただし、パワーポイント中のパワーポイント中の画像やテキストを抜粋して使用する場合は、必ずクレジット(日本野鳥の会)を入れてください。また、写真を使用する場合は、撮影者名を入れてください。

パワーポイント：ツバメの子育てを観察しよう-II 調査結果のまとめ

スライド1. ツバメの子育てを観察しよう-II 調査結果のまとめ

前回の授業で取り組んだ、ツバメの子育て観察のまとめを行うことを伝えます。

この時子どもたちに、ツバメの子育てを観察してどう感じたか、問いかけてもよいでしょう。



スライド2. 学習のねらい

授業のねらい、これから取り組むことを説明します。

① ツバメの子育て観察の結果をまとめる

ツバメの巣が全部でいくつあったか、集計します。

巣の場所の地図を作ります。

観察して気づいたことを、共有します。

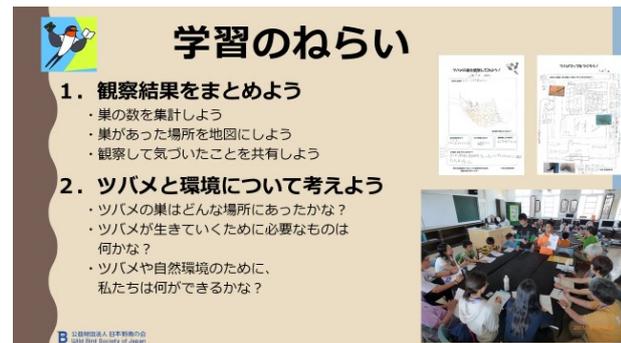
② ツバメと自然環境について考える

(個人ワーク&グループディスカッション)

ツバメの巣はどんな場所にあったか、周りはどんな環境だったか、考えてみましょう。

まず、グループに分かれて、観察結果をまとめましょう。

結果はグループで1枚のポスターにしましょう。まとめ方については、これから説明します。



スライド3. 観察結果をまとめよう

① 巣の数を集計する

これまでの調査で巣がいくつ見つかったか、巣の数を集計しましょう。

その時に、使用中の巣（親鳥が巣作り中、親鳥が巣に座っている、ヒナがいるなど、ツバメが利用していることが確認された巣）と、古巣（ツバメが利用していることが確認できなかった巣）を分けて数えましょう。

② ヒナの数を集計する

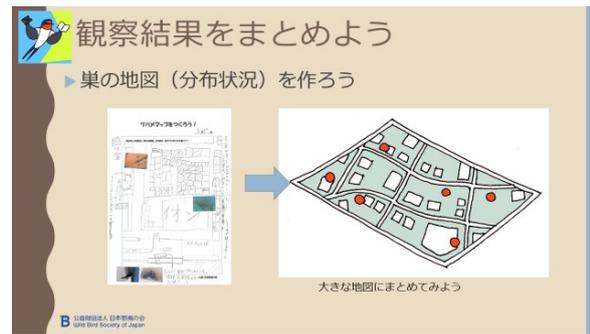
巣にヒナがいて、その数を数えられた場合、ヒナの数も集計しましょう。

* 巣立ったヒナの数、貴重な情報です。できれば巣立つまでその巣を継続して観察して、何羽巣立ったかを記録しましょう。



スライド 4. 巣の地図を作ろう

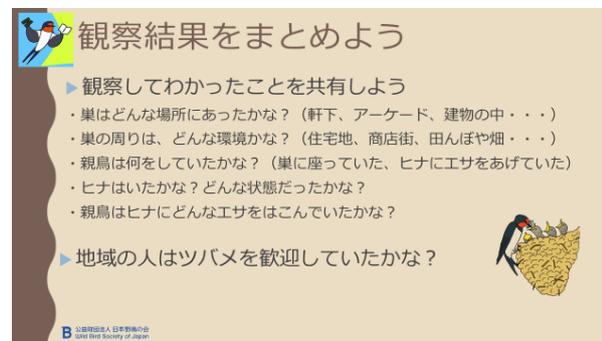
使用中の巣があった場所を、大きな地図にしましょう。
地図には、周りの環境（住宅地、公園、川など）も書き込みましょう。
*調査範囲が狭い場合は、クラス全体で地図を作るのもよいでしょう。



スライド 5. 観察してわかったことを共有しよう

観察してわかったこと（各自、調査用紙に記入したこと）をグループで共有しましょう。

- ・巣はどんな場所にありましたか？（軒下、アーケード、建物の中・・・）
- ・巣の周りにはどんな環境でしたか？（住宅地、商店街、田んぼ・・・）
- ・親鳥は何をしていましたか？（巣に座っていた、ヒナにエサをあげていた・・・）
- ・ヒナはいましたか？
- ・ヒナはどんな姿をしていましたか？
- ・親鳥はヒナにエサをはこんでいましたか？何をあげていたか、観察できましたか？
- ・ほかに、わかったこと、気になったこと、感じたことはありますか？



地域の方は、ツバメを歓迎していましたか？

*地域の人と交流できた場合は、ツバメを歓迎していたかどうか、その理由なども話し合ってみましょう。

スライド 6. 観察結果をポスターにして発表しよう

観察結果のまとめ、巣の地図、観察して気づいたことなどをグループごとにまとめて、ポスターを作りましょう。
ポスターが完成したら、グループごとに発表しましょう。
*グループに1~2枚、ポスター用紙（模造紙、カレンダーの裏紙など）を配布。

ポスターが完成し、グループごとに発表した後で、シート4「集計用紙」を使って、クラス全体の結果をまとめましょう。

結果のまとめが終了したら、グループディスカッション「考えてみよう」に移りましょう。



スライド7. 考えてみよう (グループディスカッション)

ツバメにとって、私たちが住む町が暮らしやすいかどうか、皆で考えてみましょう。

- ・私たちが生きていくために必要なものは、何でしょう？ (水？家？食べ物？)
- ・ツバメが生きていくために必要なものは、何だと思いますか？ (ツバメの巣は何でできていたかな？ ツバメの巣はどこにあったかな？ ツバメは何を食べていたかな？)
- ・ツバメが生きていくために必要なものは、私たちの町 (学校や家の周り) にありますか？
- ・ツバメや自然環境のために、私たちは何ができると思いますか？

*教員向けガイドブック「ツバメの子育てを観察しよう」シート5「かんがえてみよう」を一人1枚配布し、まず、個人で考えさせましょう。その後で、グループまたはクラス全体で共有するようにしましょう。



考えてみよう

- ▶ 私たちが生きていくためには、何が必要かな？
- ▶ ツバメが生きていくためには、何が必要かな？
- ▶ ツバメが生きていくために必要なものは、学校 (家) のまわりにあるかな？
- ▶ ツバメや自然のために、私たちは何ができるかな？

スライド8. 活動の発展例：絵に描いてみよう

*調査のまとめとディスカッションの後、さらに時間が取れるようであれば、ツバメの子育て観察をして気づいたことや感じたことを自由に絵で表現させると良いでしょう。

★調査結果を送ってください

調査用紙、集計用紙、巣の分布地図、子どもたちが作成したポスター、活動の様子の写真などを、可能な範囲で日本野鳥の会にお送りください。

<送り先>

(公財) 日本野鳥の会 自然保護室

141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

FAX:03-5436-2635 E-mail:hogo@wbsj.org

その他お問合せ：教員向けガイドブック「ツバメの子育てを観察しよう」を利用されるに当たり、ご不明な点などありましたら、日本野鳥の会自然保護室 (電話：03-5436-2633) までお問合せください。



活動の発展例：絵に描いてみよう



以 上